

科目ナンバー： BB2021

授業コード： 2220200200

講義科目名称： 形態機能学Ⅱ

英文科目名称： Physiology and Anatomy Ⅱ

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1学年	2単位	必修
担当教員			
◎堀江正男			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】			
	【氏名】 ◎堀江 正男	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 315	【メールアドレス】 mhorie@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門基礎科目			
	【保健師助産師看護師学校養成所指定規則に定める種類】 看護師課程			
	【DP1】 【DP2】 【DP3】 【DP4】 【DP5】 【DP6】 【DP7】 ◎			

到達目標	医学を修める上で基本となる人体の正常構造と機能を理解し、説明できる 1. 消化器系 ・各消化器官の位置、形態、機能を説明できる ・腹腔腔について説明できる ・消化液の作用を説明できる ・肝臓・胆嚢・膵臓の基本構造と機能を説明できる 2. 呼吸器系 ・気道、肺葉、肺泡の構造と機能を説明できる ・気管と気管支の各部位の解剖学的相違点を説明できる ・縦隔と胸膜腔の構造を説明できる ・呼吸気量の説明ができる 3. 循環器系 ・心臓の構造と分布する血管、支配神経を説明できる ・刺激伝導系を説明できる ・体循環、肺循環、胎児循環を説明できる ・身体の各部位に分布する動脈と静脈について説明できる ・血圧とその神経性および液性調節について説明できる ・リンパ系の構成と構造について説明できる 4. 泌尿器系 ・尿路系の構成、各器官の位置、形態および腎臓の機能について説明できる ・排尿の機序を説明できる 5. 生殖器系 ・男性と女性の生殖器の形態と機能を説明できる ・精巣の組織構造と精子形成の過程を説明できる ・陰茎の組織構造と勃起・射精の機序を説明できる ・性周期を説明できる ・胎盤の形成とその機能、胎児の発達について説明できる 6. 内分泌系 ・内分泌系の構成、各器官の位置、形態を説明できる ・ホルモンの産生部位と作用を説明できる 7. 免疫系 ・皮膚と粘膜の構造と機能を説明できる ・自然免疫および獲得免疫について説明できる			
授業概要	正常な人体の構造と機能について、細胞・組織・器官および器官系まで統合して理解する			
授業計画	1 授業内容 授業形態：対面 学習課題：栄養の消化と吸収 学習内容：口・咽頭・食道の構造と機能、腹部消化管の構造と機能 事前学修：テキスト p. 56 ～ p. 74 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する 2 授業内容 授業形態：対面 学習課題：栄養の消化と吸収 学習内容：腹部消化管の構造と機能（続き）、膵臓・肝臓・胆嚢の構造と機能、腹膜			

3	事前学修：テキスト p. 75 ～ p. 93 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
4	授業内容
	授業形態：対面
5	学習課題：呼吸と血液の働き
	学習内容：呼吸器の構造、呼吸
6	事前学修：テキスト p. 96 ～ p. 112 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
7	授業内容
	授業形態：対面
8	学習課題：呼吸と血液の働き
	学習内容：呼吸（続き）、血液
9	事前学修：テキスト p. 113 ～ p. 130 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
10	授業内容
	授業形態：対面
11	学習課題：呼吸と血液の働き
	学習内容：血液（続き）
12	事前学修：テキスト p. 131 ～ p. 148 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
13	授業内容
	授業形態：対面
14	学習課題：血液の循環とその調節
	学習内容：循環器系の構成、心臓の構造、心臓の拍出機能
15	事前学修：テキスト p. 150 ～ p. 164 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
16	授業内容
	授業形態：対面
17	学習課題：血液の循環とその調節
	学習内容：心臓の拍出機能（続き）、末梢循環系の構造
18	事前学修：テキスト p. 165 ～ p. 179 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
19	授業内容
	授業形態：対面
20	学習課題：血液の循環とその調節
	学習内容：末梢循環系の構造（続き）、血液の循環の調節
21	事前学修：テキスト p. 180 ～ p. 194 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
22	授業内容
	授業形態：対面
23	学習課題：血液の循環とその調節
	学習内容：血液の循環の調節（続き）、リンパとリンパ管
24	事前学修：テキスト p. 195 ～ p. 208 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
25	授業内容
	授業形態：対面
26	学習課題：体液の調節と尿の生成
	学習内容：腎臓
27	事前学修：テキスト p. 210 ～ p. 219 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
28	授業内容
	授業形態：対面
29	学習課題：体液の調節と尿の生成
	学習内容：腎臓（続き）、排泄路、体液の調節
30	事前学修：テキスト p. 220 ～ p. 237、p. 514 ～ p. 515 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
31	授業内容
	授業形態：対面
32	学習課題：生殖・発生と老化のしくみ
	学習内容：男性生殖器、女性生殖器、受精と胎児の発生
33	事前学修：テキスト p. 460 ～ p. 479 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
34	授業内容
	授業形態：対面
35	学習課題：生殖・発生と老化のしくみ
	学習内容：受精と胎児の発生（続き）、成長と老化
36	事前学修：テキスト p. 480 ～ p. 499 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
37	授業内容
	授業形態：対面
38	学習課題：内臓機能の調節
	学習内容：内分泌系による調節、全身の内分泌腺と内分泌細胞、ホルモン分泌の調節、ホルモンによる調節の実際
39	事前学修：テキスト p. 249 ～ p. 280 を予習する
	事後学修：授業で学習した内容を復習する
40	授業内容
	授業形態：対面
41	学習課題：身体機能の防御と適応
	学習内容：皮膚の構造と機能、生体の防御機構、体温とその調節

	事前学修：テキスト p. 434 ～ p. 457 を予習する 事後学修：授業で学習した内容を復習する
評価方法、評価基準	到達目標に対して、定期試験100%
必携図書	坂井建雄、岡田隆夫（2026）：系統看護学講座 専門基礎 解剖生理学 人体の構造と機能 1 第10版（医学書院） 坂井建雄、岡田隆夫、宇賀貴紀編（2026）：「系統看護学講座」準拠 解剖生理学 ワークブック 2026年版（医学書院）
参考図書・資料等	適宜紹介する
受講、課題、資料配布等のルール	授業中の私語を禁止する
教員からのメッセージ	形態機能（解剖生理）学は医療従事者をを目指す者にとって疾病やその治療を理解するための基礎となる科目である。人体の正常な構造と機能を理解することで、正常ではない状態（疾病）への気づきを与えてくれる。
オフィスアワー	時間指定なし（予約が確実）